

経営組織論		講義	教授 丸山 高行
科目カテゴリー	国際ビジネスコースの専門 選択科目、経営・経済コースの選択必修科目 教職科目	科目ナンバリング	23201202 25320224

1. 授業のねらい・概要

企業などの組織の基本的な構造やマネジメント方法が、論理的かつ体系的に身につくことを目標とする。具体的には、現実の企業内の組織構造、経営組織のデザイン、経営組織のマネジメント、組織形態の変革、経営組織に対するガバナンスという5つのテーマに基づき、経営組織論の基本領域を学ぶ。

2. 授業の進め方

毎回の授業は、レジュメ、課題、課題解説動画をオンライン配信することにより行う。具体的には、授業開始時刻に合わせ、Google Classroomにレジュメとレジュメに関連する課題（選択形式で3問程度）を公開する。受講者は、レジュメを熟読するとともに、関連知識を整理した上で、課題の回答をGoogle Classroomにインプットする。一定期間（3日間を予定）経過後、課題の解説動画をGoogle Classroomに配信する。解説動画は、20分～30分程度を予定している。

3. 授業計画

1. イントロダクション	9. モチベーションを高める賃金体系と退職金制度
2. 経営組織の基本型	10. 確定給付企業年金と確定拠出年金
3. 経営組織のデザイン（特に階層構造の設計）	11. 株式会社の機関設計
4. 経営組織のデザイン（特に事業部制の活用）	12. 取締役の責任と義務および報酬制度
5. 経営組織のバリエーション	13. 経営組織のダイナミックな変革（特にM&A）
6. 経営組織のマネジメント	14. 経営組織のダイナミックな変革（特に持株会社制度）
7. リーダーシップとモチベーション（やる気）	15. 全体のまとめ（コーポレート・ガバナンスとリスク管理）
8. 組織内・組織間のコミュニケーション	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

レジュメは、1回の授業につき、パワーポイントのスライド12枚が提供される（経営組織論全体で180枚）。スライド12枚は、毎回の授業テーマに沿った図表と、図表に関する解説文から構成される。さらに、レジュメには、関連する資料や参考文献へのリンクが貼ってある。受講者は、レジュメの内容を理解し、関連資料や参考文献にもアクセスして必要知識を整理した上で、課題にチャレンジすることになるが、正解を導くためには、最低1時間の学修が必要である。また、課題解説動画の視聴を中心に、毎回、1時間程度の復習を行うことが望ましい。なお、前年度のレジュメ、課題（前年度は12回分）を授業スタート時にGoogle Classroomで公開するので、適宜、予習に役立ててほしい。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

毎回の課題については、上記の通り、Google Classroomに解説動画を配信する。期末試験は、課題（選択形式で3問程度）にレポートの提出を加える形で行う。期末試験についても、終了後、解説動画を配信するので、解答が不十分だったところは直ちに復習しておくこと。

6. 授業における学修の到達目標

経営組織論の基礎が、論理的かつ体系的に身につくことを目標とする。また、定年延長や多様化する企業年金制度、持株会社設立に代表される組織形態の変革など、ホットな話題にも適宜触れるので、関心のある業界や企業について、より深く研究しようという意欲が高まることを期待する。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（20%）および定期試験の結果（80%）によって、評価する。

8. テキスト・参考文献

毎回の授業で提示するレジュメが、テキストとなる。また、レジュメの中で、適宜参考文献を紹介する。

9. 受講上の留意事項

基本的に経営学基礎で学んだ知識を前提に授業を進めるので、しっかり復習しておくこと。また、経営組織論と経営戦略論は会社経営の両輪となるので、できればセットで受講することが望ましい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、金融機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。